

緊急情報

出穂後も高温が続く見込み！ 高温障害軽減のため飽水管理を徹底！

- ・ 8月中旬ころまでは「気温がかなり高くなる」と予報されています。
- ・ 特に、8月9日から11日にかけて台風6号による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

コシヒカリの管理ポイント

現在、コシヒカリの多くは出穂期から穂揃期と、最も水を必要とする時期にあり、今後は高温の影響を最も受けやすい時期(出穂後 10～13 日頃)を迎えます。異常高温による障害を軽減するため、地温の上昇を抑える水管理(飽水管理)を徹底しましょう。

- 1 出穂後2週間までは特に重要な時期なので、こまめに水回りを行い、可能な限り飽水状態(かん水時の水位は3cm以下、足跡や溝に水が残るヒタヒタ状態)を維持する。
- 2 気象情報を確認し、フェーン等異常高温が見込まれる場合は高温になる前から早めにかん水し、水が行き渡ったら速やかに水口を止める。
- 3 長期間の湛水は根の機能低下を招くので行わない。
- 4 暗渠の閉栓確認や水尻をしっかりと止めるなど、限りある用水の有効利用を心がける。また、地域全体に用水が行き渡るよう、番水ルールや優先的に水を回すエリアの確認などについて、地域内で話し合いを行う。

農作業を行う際は高温の時間帯を避け、涼しい時間帯に行くなど熱中症にならないように注意しましょう。